

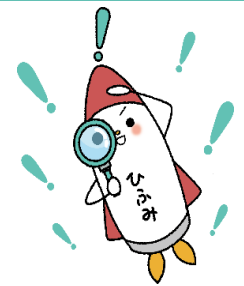
ひふみワールド 月次ご報告書

追加型投信/海外/株式

レオス・キャピタルワークスよりお客様へ

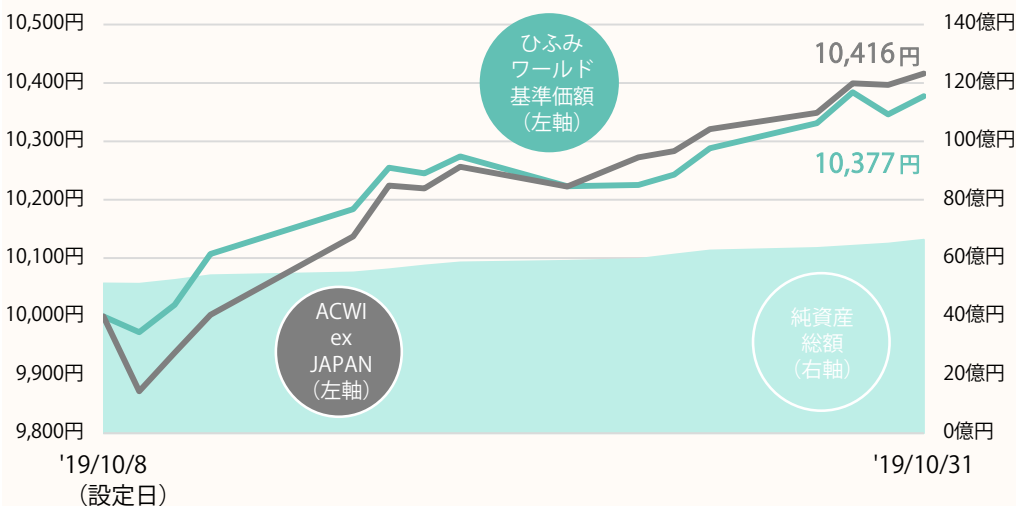
資産形成のパートナーに「ひふみワールド」をお選びいただき、ありがとうございます。

運用状況ならびに運用責任者からお客様へのメッセージなどをご報告します。



運用実績

基準価額等の推移



作成基準日：2019年10月31日

※当レポートで言う基準価額とは「ひふみワールド」の一万口あたりの値段のことです。また信託報酬控除後の値です。

※「ひふみワールド」の当初設定日（2019年10月8日）を10,000円として指数化し、基準価額とMSCI ACWI ex JAPANのグラフや設定来の運用実績の表を作成しています。なお、MSCI ACWI ex JAPANは、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

※MSCI ACWI ex JAPANは当ファンドのベンチマーク（運用する際に目標とする基準）ではありませんが、参考として記載しています。なお、MSCI ACWI ex JAPANは配当込みです。

MSCI ACWI ex JAPANは、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国、新興国の株式を対象として算出している指数です。同指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。

※当レポートにおいて特段の注記がない場合は、基準日時点における組入銘柄比率や運用実績を表しています。また運用実績など表記の値については、小数点第二位を四捨五入して表示しています。そのため組入比率などでは合計が100%にならない場合があります。

※純資産総額は1,000万円未満を切捨てで表示しています。

※受益権総口数とは、お客様に保有していただいている口数合計です。

※「ひふみワールド」は分配金再投資専用の投資信託です。

※「ひふみワールド」は、ひふみワールドマザーファンド（親投資信託）を通じて実質的に株式へ投資しています。

※現金等には未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。

運用成績

| | 1ヵ月 | 3ヵ月 | 6ヵ月 | 1年 | 3年 | 設定来 |
|--------------------|-----|-----|-----|----|----|------|
| ひふみワールド | - | - | - | - | - | 3.8% |
| MSCI ACWI ex JAPAN | - | - | - | - | - | 4.2% |

ひふみワールドの運用状況

| | |
|--------|----------------|
| 基準価額 | 10,377円 |
| 純資産総額 | 66.2億円 |
| 受益権総口数 | 6,386,024,031口 |

分配の推移（1万口当たり、税引前）

| | | |
|-------|----|----|
| 第1期 | - | - |
| 第2期 | - | - |
| 第3期 | - | - |
| 第4期 | - | - |
| 第5期 | - | - |
| 第6期 | - | - |
| 設定来合計 | 0円 | 0円 |

ひふみワールド 投資信託財産の構成

| | |
|----------------|--------|
| ひふみワールドマザーファンド | 100.0% |
| 現金等 | 0.0% |
| 合計 | 100.0% |

基準価額の株式要因と為替要因

[ご参考]基準価額変動の内訳

| | 19年8月 | 19年9月 | 19年10月 | 設定来 |
|------------|-------|-------|--------|-------|
| 基準価額変動額 | - | - | +377円 | +377円 |
| うち 株式・投資証券 | - | - | +267円 | +267円 |
| 為替 | - | - | +120円 | +120円 |
| 信託報酬・その他 | - | - | -10円 | -10円 |

資産配分比率などの状況

ひふみワールドマザーファンドの状況

| | |
|---------|--------|
| 純資産総額 | 66.2億円 |
| 組み入れ銘柄数 | 79銘柄 |

国別比率

| | |
|---------|--------|
| アメリカ | 39.2% |
| 中国 | 5.3% |
| フランス | 4.5% |
| イギリス | 3.7% |
| ドイツ | 2.3% |
| その他の国 | 10.5% |
| 預金等、その他 | 34.6% |
| 合計 | 100.0% |

業種別比率

| | |
|-------------|--------|
| ソフトウェア・サービス | 9.8% |
| 消費者サービス | 8.5% |
| 資本財 | 8.3% |
| メディア・娯楽 | 5.9% |
| 各種金融 | 5.7% |
| その他の業種 | 27.4% |
| 預金等、その他 | 34.6% |
| 合計 | 100.0% |

資産配分比率

| | |
|---------|--------|
| 海外株式 | 64.7% |
| 投資証券 | 0.8% |
| 預金等、その他 | 34.6% |
| 合計 | 100.0% |

通貨別比率

| | |
|-------------|--------|
| 米ドル | 44.3% |
| ユーロ | 8.3% |
| 香港ドル | 7.0% |
| イギリス・ポンド | 2.6% |
| スウェーデン・クローナ | 1.2% |
| その他の通貨 | 2.1% |
| 預金等、その他 | 34.6% |
| 合計 | 100.0% |

※「資産配分比率」「国別比率」「通貨別比率」「業種別比率」はマザーファンドの対純資産比率にて表示しております。


※「投資証券」はREIT（不動産投資信託）等です。

※現金等には未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。

※「国別比率」は原則として発行国で区分しております。

※「業種別比率」は原則としてGICS（世界産業分類基準）のセクター分類に準じて表示しております。

銘柄紹介（基準日時点の組入比率1～10位）

| | 銘柄名 | 国 | 業種 | 組入比率 |
|----|--|--------|-------------|------|
| | | 銘柄紹介 | | |
| 1 | SITEONE LANDSCAPE SUPPLY, INC.  | アメリカ | 資本財 | 1.4% |
| 2 | VISA INC.  | アメリカ | ソフトウェア・サービス | 1.3% |
| 3 | BROOKFIELD ASSET MANAGEMENT INC.  | カナダ | 各種金融 | 1.3% |
| 4 | WORLD WRESTLING ENTERTAINMENT, INC.  | アメリカ | メディア・娯楽 | 1.3% |
| 5 | DOW INC.  | アメリカ | 素材 | 1.2% |
| 6 | HYATT HOTELS CORPORATION  | アメリカ | 消費者サービス | 1.2% |
| 7 | SAP SE  | ドイツ | ソフトウェア・サービス | 1.2% |
| 8 | OLLIE'S BARGAIN OUTLET HOLDINGS, INC.  | アメリカ | 小売 | 1.2% |
| 9 | ALLEGIANT TRAVEL COMPANY  | アメリカ | 運輸 | 1.2% |
| 10 | MERCADOLIBRE INC.  | アルゼンチン | 小売 | 1.2% |

※国は原則として発行国を表示しています。

※業種は原則としてGICS（世界産業分類基準）のセクター分類に基づいて表示しています。

※組入比率はマザーファンドの対純資産比率です。

ようこそひふみワールドへ

創業来16年の知見活かし全力運用

2003年、私は藤野、五十嵐とともに当社を創業し、取締役運用本部長、ファンドマネージャーとして成長を引っ張ってきました。ひふみワールドの大いなる船出をみなさまとともに迎えられることを大変うれしく思います。長い旅路には楽しい時もあるれば、苦しく辛い時もあると思います。レオスの仲間たち、そしてみなさまと乗り越えていきたいと思えます。創業以来16年にわたって蓄積した経験、知見を活かし、リターンをみなさまにお返しすると同時に、わたしたちのミッション「資本市場を通じて社会に貢献します」をさまざまな形で実践してまいりたいと決意を新たにしています。



取締役運用本部長
ひふみワールド運用責任者
湯浅 光裕

ポートフォリオで最大となる米国市場は、トランプ大統領の弾劾など2020年末の大統領選挙まで政治的混乱が予想される一方、金融緩和期待や選挙をにらんでの景気支援策が、市場および企業収益の下支えとなっています。イノベーションを起こし、革新的サービス、産業を創造する素地と可能性が米国にはあります。個別理由で高成長が期待できるグロース銘柄を中心に組入れると同時に、低成長ながら安定的に収益を稼げるバリュー銘柄への投資も行なっています。

欧州地域はドイツ経済鈍化などマクロ環境に不安があるものの、英国の欧州連合（EU）離脱期限が2020年1月末まで延期されるなど、合意なき離脱の回避努力で混乱が収束する期待もあります。米中問題からの直接的な影響が比較的小さく、地政学的に相対的な優位性もあります。厳しい環境下でも安定成長が期待できる資本財銘柄や、高成長が期待できる特色のあるブランド企業などを組入れています。

アジア、アセアン地域においては人口増加、総人口の多い地域特性を生かした企業から銘柄選定をしています。中心となる中国は米国との貿易戦争から期待成長率が低下していますが、個別企業の成長ドライバーは失っていません。日用品、スポーツ用品を取扱う企業、半導体関連銘柄やインフラ関連銘柄などをバランスよく、かつ慎重に組み入れています。

スタート直後のため現金比率が30%超と高くなっていますが順次、株式の比率を高めていきます。

「ひふみワールド」にご一緒いただいているみなさま Welcome Aboard。わたしたち運用部、経済調査室の各人は、みなさまの資産形成の一助となれますよう、地に足を着け、世界で活躍する経営者、働く人と対話し、日々全力で運用します。今後のひふみワールドにご期待ください。

※組入比率など運用についての記述は、すべてひふみワールドマザーファンドに関するご説明です。

※当資料では「ひふみワールドマザーファンド」のことを「ひふみ」と略する場合があります。

米中交渉進展期待からリスク選好、世界的な強気相場へ

世界的金融緩和継続、半導体サイクル拡大の両輪

米国を牽引役に世界の株式市場は米中通商交渉の進展期待を主因に上昇相場の色彩が強まってきました。グローバルな投資資金は、リスク回避（安全資産）からリスク選好（株式などリスク資産）にシフトしています。年末に向けてこのような流れが一段と強まりそうです。米大統領選挙を1年後に控え、主要国株式は強気相場入りの様相です。

世界経済の下押し要因として懸念された米中貿易戦争は、米中双方の理由から一時休戦ムードが強まっています。これまでの米中貿易戦争の下で中国は、景気悪化が顕著になりましたが、加えて、香港デモの想定外の長期化によって台湾総統選挙（2020年1月）で台湾の主権を守ることを明言する蔡英文総統の再選の可能性が高まりました。中国共産党にとっては台湾統一が最重要課題で、台湾に遠心力が強まることは一大事です。習近平指導部の強硬な対米、対香港政策は、8月の北戴河会議（共産党の現指導部と長老が重要事項を話し合う会議）以降、緩和・融和的政策に軌道修正が図られたようです。

一方、米国は、再選を目指すトランプ大統領にとって支持率と景況感（株価）が最重要ですが、米議会下院がトランプ大統領の弾劾調査を進める決議案を可決したことで、さらにその様相が強まるでしょう。共和党支持層が厚い中西部や南部（農業州）では、中国が米農産物を大量購入するの否かで支持率が変動します。また、12月15日からの対中追加関税ではスマホやPC、ゲーム機など約1,600億ドル相当の中国製品に15%が課されますが、他国製品への代替が難しく、米国の消費に本格的に悪影響を与えると同時に、中国経済に対してもこれまでとは次元の異なる打撃になります。

10月に開催された米中の閣僚級会合で、中国は米農産物の輸入拡大（年間400～500億ドル購入）や、金融市場の開放を了承しましたが、米中首脳による正式合意が11月中をメドに結ばれそうです。これは第一段階の合意になりますが、さらに12月15日からの対中追加関税（約1,600億ドル相当）を回避するため、中国に対して外資企業に対する技術移転の強要禁止や知的所有権の保護強化、履行検証体制の確立などを主とする第二段階の交渉が進められると推察されます。この交渉は2020年の早い時期に合意を得そうです。問題は中国が共産党体制の維持に不可欠と考える国有企業に対する優遇策や、補助金政策などに対して禁止を迫る第三段階の交渉が結実するかです。中国にとって簡単には受け入れがたく、難航しそうですが、米中双方とも交渉打ち切りで対立激化は得策ではないとみられ、合意に至らず「交渉継続」状態が長期化するのかもわかりません。

主要国金融政策では米FRBが7、9、10月と3回連続の利下げを行なうなど、米中貿易戦争に対する予防的な金融緩和を行ないました。ECB（欧州中央銀行）も9月の理事会で利下げや量的緩和の再開など予想以上の緩和策を打ち出しました。日銀も一段の緩和を排除しない姿勢です。一方、米中関係が改善してもFRBは、インフレ率が2%目標を長期にわたり下回り続けたことで、2%を1～2年突破しても利上げしないことを示唆しています。景気や企業収益は米国を先導役に日本や欧州の回復が遅れていますが、日欧も今後キャッチアップしそうです。世界経済・株式市場のカギを握るシリコンサイクル（半導体出荷循環）は大底を形成し、拡大局面に入りつつあります。金融緩和継続と企業収益の好転は日本株、世界株の強気相場を育てるでしょう。日本株は割安修正高も期待できそうです。



運用本部
経済調査室長
三宅一弘

ひふみワールドの特色

「ひふみワールド」は、マザーファンドを通じて信託財産の長期的な成長を図るため、次の仕組みで運用します。

- ① 日本を除く世界各国の株式等を主要な投資対象とし、成長性が高いと判断される銘柄を中心に選別して投資します。
- ② 株式の組入比率は変化します。
- ③ 株式の組入資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
- ④ 運用はファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて行ないます。

ひふみワールドの投資リスク

■ 基準価額の変動要因

- 「ひふみワールド」は、マザーファンドを通じて株式など値動きのある証券（外国の証券には為替リスクもあります。）に投資いたしますので、基準価額は、大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。これらの運用により生じる利益および損失は、すべてお客様（受益者）に帰属します。
- 投資信託は預金等とは異なります。

■ 基準価額の変動要因となる主なリスク

| | |
|---|---|
| 株 価 変 動 リ ス ク | 「ひふみワールド」は、海外の株式を組み入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、経済・政治情勢などの影響を受け変動するため、株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割り込むことがあります。 |
| 流 動 性 リ ス ク | 有価証券等を売買しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性のもとでの取引が行えない、あるいは不利な条件で取引を強いられる場合があります。これにより、当該有価証券等を期待する価格で売却できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあり、基準価額が下落するおそれがあります。 |
| 信 用 リ ス ク | 有価証券等の発行者や有価証券の貸付け等における取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想される場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となるおそれがあります。投資した企業等にこのような重大な危機が生じた場合には、大きな損失が生じるリスクがあります。 |
| 為 替 変 動 リ ス ク | 外貨建資産については、当該通貨の円に対する為替変動の影響を受け、組入外貨建資産について、当該通貨の為替レートが円高方向に変動した場合には、基準価額が下落する要因となり、損失が生じることがあります。 |
| カントリー リスク（エ マージング 市場に関わ るリスク） | 当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、基準価額が大きく変動するリスクがあります。なお、エマージング市場（新興国市場）への投資においては、政治・経済的不確実性、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の未整備、為替レートの大きな変動、外国への送金規制等の状況によって有価証券の価格変動が大きくなる場合があります。 |

※基準価額の変動要因（投資リスク）は上記に限定されるものではありません。

■ 収益分配金の仕組みについて

- 追加型株式投資信託である「ひふみワールド」の収益分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」の区分があります。
- 収益分配金支払い後の基準価額が、そのお客様（受益者）の個別元本と同額の場合または上回っている場合には、当該収益分配金の全額が「普通分配金」となります。普通分配金は、配当所得として課税対象になります。
- 収益分配金支払い後の基準価額がそのお客様（受益者）の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が「元本払戻金（特別分配金）」となります。当該収益分配金から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額は普通分配金となります。
元本払戻金（特別分配金）は、実質的に元本の一部払い戻しとみなされ、非課税扱いとなります。お客様が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、その後の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

お申込メモ

| | |
|--------------|--|
| 商品分類 | 追加型投信／海外／株式 |
| 当初設定日 | 2019年10月8日 |
| 信託期間 | 無期限 |
| 決算日 | 毎年2月15日（休業日の場合、翌営業日） |
| 収益の分配 | 年1回の毎決算時に、原則として、次の方針に基づき分配を行いません。 ひふみワールドは、分配金再投資専用のため、分配金は自動的に再投資されます。 |
| 購入単位 | 1,000円以上1円単位の金額指定で受け付けます。 |
| 購入価額 | ご購入のお申込受付日の翌営業日の基準価額（1万口当り） |
| 購入代金 | 販売会社が定める日までに販売会社にお支払いください。 |
| 換金（解約）単位 | 1口以上の口数指定または1円単位の金額指定で受け付けます。 |
| 換金価額 | 解約の請求受付日の翌営業日の基準価額（1万口当り） |
| 換金代金 | 解約の請求受付日から起算して5営業日目から支払われます。 |
| 購入・換金申込受付不可日 | ニューヨーク証券取引所または香港証券取引所のいずれかの休業日と同じ日付の場合には、申込受付は行ないません。 |
| 申込締切時間 | 購入・換金ともに、毎営業日の15時までに受け付けたものを当日のお申込みとします。 課税上は、株式投資信託として取り扱われます。配当控除の適用はありません。 |
| 課税関係 | 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。 税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。 |

お客様にご負担いただく費用

◇ 直接ご負担いただく費用 : ありません。

申込手数料・換金（解約）手数料・信託財産留保額 は一切ありません。
なお、「スポット購入」に際しての送金手数料はお客様負担となります。

◇ 間接的にご負担いただく費用 : 次のとおりです

| | |
|------------------|--|
| 運用管理費用 (信託報酬) | 信託財産の日々の純資産総額に対して年率 1.6280% （ 税抜年率1.4800% ）を乗じて得た額。 信託報酬とは、投資信託の運用・管理にかかる費用のことです。 日々計算されて、投資信託の基準価額に反映されます。なお、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のとき「ひふみワールド」の信託財産から支払われます。 |
| 監査費用 | 信託財産の純資産総額に対して年率0.0055%（税抜年率0.0050%）を乗じて得た額（なお、上限を年間99万円（税抜年間90万円）とします。当該上限金額は契約条件の見直しにより変更となる場合があります。）。日々計算されて、毎計算期末または信託終了のときに信託財産から支払われます。 |
| その他費用 ・手数料 | 組入価証券の売買の際に発生する売買委託手数料（それにかかる消費税）、先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立て替えた立替金の利息など。これらの費用は、運用状況等により変動するものであり、予めその金額や上限額、計算方法を具体的に記載することはできません。 |

※手数料等の合計金額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

当資料のご留意点

当資料は、レオス・キャピタルワークスが作成した販売用資料です。投資信託の取得の申込みにあたっては、販売会社から交付される投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。投資判断はお客様ご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

投資信託は預金等や保険契約と異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。

投資信託のお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

当資料の情報の正確性について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

当資料の市場見通しやグラフ・数値等は、当資料作成時点での当社の見解や過去の実績であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。

ファンドの関係法人

委託会社： レオス・キャピタルワークス株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第1151号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

受託会社： 三菱UFJ信託銀行株式会社

販売会社： レオス・キャピタルワークス株式会社

当ファンドについてのお問い合わせ先

レオス・キャピタルワークス株式会社

コミュニケーション・センター

電話：03-6266-0123（受付時間：営業日の9時～17時）

メール：cc@rheos.jp

